

## 「鉄道総研式事故の聞き取り調査手法」を開発しました

平成26年10月17日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）では、事故やトラブル発生背景要因に関する情報を収集するための「鉄道総研式事故の聞き取り調査手法」を開発しました。

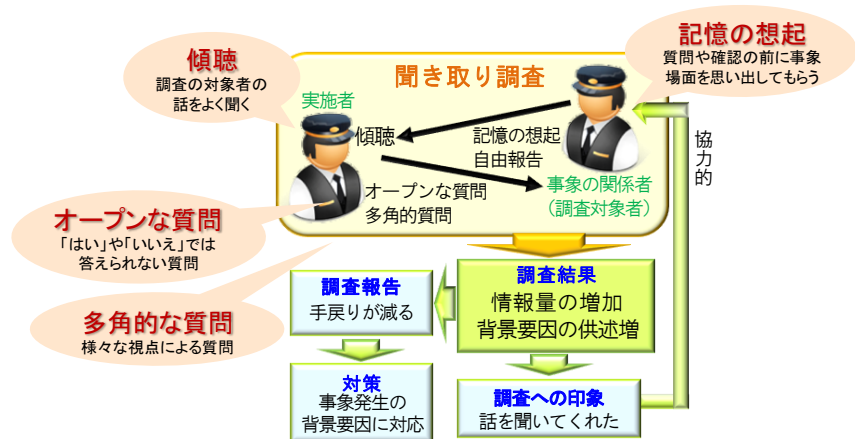
事故やトラブルが発生した後、その発生要因を分析して再発を防止するためには、関係者の行動や発生状況等の背景要因に関する十分な情報を、関係者の記憶が薄れないうちにできるだけ多く収集することが重要です。そこで、鉄道総研では、鉄道の現業機関向けに事故の聞き取り調査手法を開発しました。

本手法では、質問や確認の前に事象場面を思い出してもらい、関係者の自由な報告を促します。その上で、さらにオープンな質問（「はい」や「いいえ」で簡単に答えられない質問）や様々な視点による多角的な質問を行います。

本手法を試行し、調査時の実際の発言内容が従来と違うかどうかを分析したところ、聞き取り調査の方法を本手法に変更すると関係者の事象の背景要因についての発言量が倍増することを確認しています。

鉄道総研では、本手法を解説した映像DVD付きのマニュアルを作成し、内容に関する研修講師の派遣も承っています。研修は、ご要望に応じ2～6時間に構成を組み合わせることが可能です。

適切な安全マネジメントの実施には、事故やトラブルの発生要因を分析するために必要な情報の収集が不可欠です。本手法を導入することによって、有効な聞き取りデータが効率よく収集できるようになることが期待できます。



鉄道総研式事故の聞き取り調査手法の概要



映像の一場面とマニュアル

マニュアル購入に関するお問い合わせ  
株式会社 テス営業部  
電話 042-573-7897(JR 053-7405)  
E-mail support@tess.co.jp